

## インフラ長寿命化基本計画策定の経緯

### ○インフラ長寿命化の必要性

筐子トンネル事故等を踏まえ、今後急増する老朽インフラに対する国民の不安を払拭し、安全・安心にインフラを利用し続けられるようにする必要性

### ○政府の提言等

- ・ 安倍総理「内外情勢調査会 成長戦略第3弾スピーチ」(平成25年6月5日)  
「最新の技術を活用し、コストを抑えながら、安全性の向上を図る「インフラ長寿命化基本計画」を、本年秋にとりまとめます。」
- ・ 日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)  
「○インフラ長寿命化基本計画の策定  
・本年秋頃までに、国としてのインフラ長寿命化基本計画(基本方針)を取りまとめる。(中略)  
・また、基本計画に基づき、国、自治体レベルの全分野にわたるインフラ長寿命化計画(行動計画)を策定する。これにより、個別施設ごとの長寿命化計画策定の着実な推進を図り、全国のあらゆるインフラの安全性の向上と効率的な維持管理を実現する。」
- ・ 成長戦略の当面の実行方針(平成25年10月1日日本経済再生本部決定)  
「○インフラ長寿命化に向けた取組の推進  
・本年11月中に、インフラ長寿命化基本計画(基本方針)をとりまとめ、安全性の向上とライフサイクルコスト縮減に向けた目標やロードマップを明確化する。」



## インフラ長寿命化基本計画 (平成25年11月29日) インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定

国民の安全・安心を確保し、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るとともに、維持管理・更新に係る産業の競争力を確保するための方向性を示したもの。  
今後、本計画に基づき、国・自治体レベルで行動計画等の策定を進めることとされている。

## インフラ長寿命化基本計画等の体系

### ○インフラ長寿命化基本計画(H25.11.29策定)のポイント

- ・個別施設毎の長寿命化計画を核として、メンテナンスサイクルを構築
- ・メンテナンスサイクルの実行や体制の構築等により、トータルコストを縮減・平準化
- ・産学官の連携により、新技術を開発・メンテナンス産業を育成

### ○インフラ長寿命化基本計画の体系(公立小中学校の場合)

